

情報公開文書

適応外使用する医薬品等の名称	ニフェジピン CR 錠
本医療の対象となる方	切迫早産を呈した患者様
実施内容	内服
対象診療科	産婦人科
目的・意義	海外（特に米国や欧州）では、リトドリン塩酸塩よりも母体副作用が少ないことから、ニフェジピンが切迫早産の治療に使用されています。システマティックレビューでも切迫早産治療としての有効性が報告されており、エビデンスレベルが高い治療法です。また、産婦人科診療ガイドライン産科編2023（編集・監修：日本産科婦人科学会／日本産婦人科医会）に収載されている治療法です。当院では、原則妊娠28週未満の切迫早産例で、保険適用のあるリトドリン塩酸塩や硫酸マグネシウム水和物での治療が困難な場合に限り、使用することがあります。
想定される不利益と対策	母体では頭痛、紅潮、嘔気、血圧低下等の副作用が出現することがあり、胎児では硫酸マグネシウム水和物との併用時に胎児徐脈等が起こることがあります。したがって、内服中は定期的に血圧測定や胎児心拍陣痛計によるノンストレステストを行い、自覚症状や異常所見の出現に注意します。
本医療の承認について	本医療の実施については院内規定に基づいて審査を受けて、承認されています。
本医療についてご了承いただけない場合	本医療について、あなたまたは代理人の方にご了承いただけない場合は、下記連絡先までお申し出ください。
連絡先	本医療に関するご質問は下記へお問い合わせください。 〒814-0180 福岡市城南区七隈 7-45-1 福岡大学病院 医療安全管理部 電話番号 092-801-1011（代表）